

令和6年度

# 事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

公益財団法人光市文化振興財団

## 光市文化センター事業計画

光市文化センターは、昭和55年の開館以来、光市の特色を踏まえながら歴史、芸術、科学などの文化活動を通して市民へ文化交流の機会を提供し、市民の文化活動に対する理解と親しみを深めるための事業を展開してきた。

昨年度は新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが変わり、社会全体がウイズコロナへと大きく舵が切られることとなったことから、予定していた事業をすべてこなすことができた。しかしながら光市美術展をはじめ多くの展覧会等において、出品者数や出品作品数の減少、鑑賞者数の減少、加えて出品者や指導者の高齢化に伴う活動の衰退化など本市の文化芸術活動にも陰りが見え始めており、これから様々な視点から如何に文化芸術活動の活性化を図っていくかが課題となっている。

課題の解決に向けた方策として、若い世代の各事業への参加促進と鑑賞者数増加を図るための活動を進めていきたいと考えており、今年度は、光市美術展における高校生の出品作品数増の促進や各書道展における小中高生の出品作品数増の促進に向け、高等学校や各書道団体との連携強化を図り、文化芸術活動の活性化や利用促進に繋げていく取り組みを行う。また、光市文化センターの活動や展示内容を若い世代を含む多くの市民の方に知ってもらうために、新たに館内のクイズラリー形式の企画事業を実施し、市民の来館機会の増加に繋げていきたい。

### 1 常設展示

#### (1) 美術展示室

企画展や貸館の合間にテーマを設定して展示を行い、できる限り多くの館蔵美術品や書画・写真等を市民に公開する。特に、近年寄贈されたものや未公開作品を中心に展示を行う。

#### (2) 歴史民俗展示室・自然史展示室

基本的には通史展示を踏襲するが、令和5年12月に、光海軍工廠関係資料群一式7点が光市指定有形文化財になったことから、今年度、この光海軍工廠関係資料群一式の追加・配置換えを行う。

## 2 企画展示

- (1) 第43回濔美展 会期 4月12日(金)～4月21日(日)  
毎週木曜日に実施している絵画教室の作品展で、1年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。
- (2) 光市作家展 会期 6月8日(土)～6月23日(日)  
作家として光市に深く関わりを持って活躍されている人の作品展を開催し、より多くの市民や美術愛好家にその作家の姿を知ってもらう。また、作品や人柄を通して、多くの人に影響を与えている作家の紹介は、造形活動を広めることになる。  
今年度は、文化センターの絵画教室に所属している洋画の「阿部博子」氏と松涛窯に所属している陶芸家の「角本福美」氏を紹介する。
- (3) 兼田文男追悼展 会期 7月20日(土)～9月21日(日)  
昨年9月に93歳で逝去された光市立野出身の陶芸家、兼田文男氏のこれまでの功績を称える追悼展を開催する。今回の追悼展では、光市に平成26年、28年、30年、令和2年の4度にわたり寄贈された91点の作品の中から展示を行う。この展覧会を通して、改めて市民に広く紹介し同氏の偉業を称えとともに、市民の陶芸活動に対する興味関心を喚起し、芸術活動発展の一助としていきたい。
- (4) 第20回光市美術展 会期 10月22日(火)～11月3日(日)  
市民参加の公募展として、光市をはじめ光市教育委員会、光文化協会、当財団が一体となり実施する。会期は、部門別に前期、後期に分けて実施する。  
平成29年度から、大賞受賞作家の更なる活躍と創作の支援を目的に、大賞受賞作を購入し、常設で公開し顕彰する。
- (5) 宝迫虹汀・大楽桃白生誕140年展 会期 11月23日(土)～11月26日(日)  
今年度は光市三大作家の一人である日本画家の宝迫虹汀(1884～1903年)と早長八幡宮の神職を務めながら絵画、俳句、郷土史などに造詣が深かった大楽桃白(1884～1953年)の生誕140年にあたるため、文化センターが長年収集した作品と所蔵家の出品協力を得て展覧会を開催する。この画家展をとおして、郷土出身の画家を市民に広く紹介するとともに、絵画に対する興味関心を喚起し、芸術活動への意欲の高揚と底辺の拡大を図る。あわせて、貴重な作品が将来にわたって大切に継承されることを期待する。

(6) わが家所蔵の美術品展 会期 2月

家庭や事業所などにある愛蔵・秘蔵品を持ち寄り公開することで、個人コレクションを広く市民に鑑賞してもらおうとともに、市民同士の文化交流の一助とする。また、貴重な作品が将来にわたって継承され、後世まで語り継がれていく機会とする。

(7) 文化センター水彩画教室展 会期 3月

隔週日曜日に実施している水彩画教室の作品展で、一年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。

### 3 教育普及活動

(1) 成人大学講座

郷土山口県、光市に関わりのある人物、歴史・文学に関する内容を中心に、教養講座を開催する。定員45人とし、年間7講座で、受講料は年間1,500円とする。

講 義 内 容	講 師	開 催 日
毛利と山口	旧徳山藩毛利家 14代当主 毛利 就慶	5月18日(土)
光市における後期古墳について	しらかべ学遊館 社会教育指導員 松島 幸夫	6月15日(土)
幕末の長州藩士清水親春・親知と その関連資料	山口大学 教 授 池田 勇太	7月 6日(土)
大内氏と年貢 ～最勝光院方評定引付を読む～	山口市歴史民俗資料館 学芸員 田村杏士郎	8月24日(土)
大楽源太郎と杉梅太郎	十朋亭維新館 学芸員 立石 智昭	9月21日(土)
岩屋古墳とその周辺の史跡	光地方史研究会 会 員 吉田 信雄	11月16日(土)
毛利家に届いた本能寺の変 ～備中高松城の戦い～	下関市立歴史博物館 元学芸員 田中 洋一	12月14日(土)

(2) 絵画教室

基礎的な知識、技術を身に付けた成人を対象に、デッサン、油彩画の実技指導により技量の向上を図る。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講師 河村純一郎先生（洋画家、行動美術協会会員、周南市在住）

開催日 毎週木曜日

(3) 水彩画教室

初心者を対象に絵画の基礎から指導し、絵画人口の底辺を拡大する。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講師 岡村 毅先生（創美会会員）

開催日 毎月第1、第3日曜日

(4) 彫塑教室

造形活動の中で、立体分野における発展を願って実施する。立体造形に関する基礎的な知識と、創造的スキルを修得してもらい普及していく。会員は20人を限度とし、希望者は随時入会を受け付ける。

代表 下川正孝（市美展招待作家）

開催日 毎月第2、第4土曜日

(5) 湯呑みづくりの会

陶芸による湯呑み作りや、茶道用具制作の基本技術の習得及び現代的な陶芸作品作りを目指し、この会を自主的な同好会の一翼として発展させる。会員は、15人を限度として希望者は随時入会を受け付ける。

講師 村山嘉憲先生（陶芸作家）

開催日 毎月第1、第3水曜日

(6) 夏休み子ども科学教室

小学校3～6年の児童を対象に、科学実験や物づくりを通して、科学への興味・関心を高めさせ、自然に関する理解を深めさせるとともに、子どもたちの科学する心や研究への意欲付けの機会とする。併せて自ら学び自ら考える力や創造性の基礎となる力を育ませていきたい。

講師 奥屋隆伸先生、佐々木幸二先生

開催日 7月27日（土）、12月21日（土）

定員 両日とも20人

(7) 夏休み子ども陶芸教室

小学校4～6年の児童を対象に、「湯呑みづくりの会」の協力を得て、発達段階に応じた焼き物作りを体験させる。この教室での活動をとおして、造形に対する興味・関心を高め、併せて当館の活動に目を向けさせていく。

講師 湯呑みづくりの会

開催日 7月21日(日)、8月3日(土)

定員 30人 参加費 500円

(8) 小中学生の社会科見学や総合的な学習、高等学校の歴史・美術教育への対応

各学校の教育活動に即応した資料収集・展示を行い、社会科見学や総合的な学習、歴史・美術教育の内容を充実させるとともに、学校教育現場との連携を図っていく。

(9) ひかり歴史文化探検クイズラリー寺社編Ⅱ

光市には、貴重な史跡、有形文化財が数多くある。これらの史跡、有形文化財及び文化施設を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的な活用例としていく。内容としては、参加者にマップとクイズ帳を配り、クイズラリー形式で文化財、史跡、資料館（伊藤公資料館、ふるさと郷土館、光市文化センター）を巡ってもらう。指定された32箇所の内、16箇所以上を廻り、クイズに10問以上正解すれば修了とする。

対象者：誰でも参加可能。ただし、小学生以下は保護者が必ず同伴で廻ること。

期間：7月7日(日)から11月30日(土) ※修了者：記念品を贈呈

(10) 光市文化センター巡り(仮称)

光市文化センターの活動や展示内容を多くの市民の方に知ってもらうため、歴史民俗展示室、自然史展示室、美術展示室等の展示物を鑑賞しながら、展示物に関連した問題に答えることで、歴史、文化・芸術に対する興味・関心を高めさせるとともに、当館の活動に目を向けさせていく。

期間：9月1日(日)～9月29日(日) ※修了者：記念品を贈呈

#### 4 絵画貸出事業

新しい作品を含めたレンタルアート展を開催するとともに、財団の情報誌『虹』や当館のホームページ、市広報等により、鑑賞機会の増加と広報活動を積極的に行い利用者の拡大を図る。

## 5 資料収集活動

### (1) 美術資料の収集

光市ゆかりの物故作家の作品を中心に収集し、館蔵美術品の充実を図る。併せて県美展や日展等で活躍しているマチュア作家の作品も収集していく。

### (2) 歴史・民俗資料の収集

江戸時代から昭和前期までの歴史・民俗資料を中心に収集し、歴史・民俗展示室の充実を図る。

## 6 資料の整理

(1) 新たに収集する資料の収蔵場所を確保するため、既存の民俗・歴史資料や美術資料の整理を行う。

(2) 清水家・難波家文書の解読文（釈文）の編集確認作業・電子化を進めていくとともにホームページでの公開に向けて取り組んでいく。

## 7 市民の文化活動等への協力

(1) 文化活動の発表や学習の場を提供し、市民サービスに努める。

(2) 学校現場等へ学習教材として館蔵資料等を提供する。

## 光市民ホール事業計画

光市民ホールは、昭和47年の開館以来、市民文化活動、芸術文化・舞台芸術の中核・拠点施設、並びに市民の集会場として、光文化協会等の関係機関・団体との連携により、市民夏季大学をはじめ、音楽、演劇、伝統芸能などの各種文化関係事業及び貸館事業を実施してきた。

令和元年度に発生が確認され、社会・経済活動に大きな影響を及ぼし、芸術文化を取り巻く環境にも深刻なダメージを残した新型コロナウイルス感染症は、昨年5月8日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の中で、インフルエンザなどと同じ5類感染症としての取り扱いがされることとなった。

このような社会環境の変化により市民ニーズは大きく変容しているが、公立文化施設としての市民ホールは、市民の自主的な芸術文化活動の拠点として、今後とも引き続き果たすべき役割は大きいものがあると考えます。

また、本年は、新市誕生20周年を迎えることから、例年実施している自主文化事業に加え、市との共催による「光市新市誕生20周年記念事業」を実施することとし、多様化・高度化が進む市民ニーズに的確に対応し、市民文化の向上に向けた優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため下記の事業を実施する。

### 1 自主文化事業

#### (1) 第52回市民夏季大学

市民夏季大学は、市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の間に広く定着している。近年の社会環境の変化により、受講年齢層、受講人数等が変化していく中で、多様化する市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するために、各界で活躍している話題性が高く集客力のある著名人を講師として招く。

なお、今回の講座は、光市新市誕生20周年記念事業の一つとして、市との共催で実施する。

第1講座	日時	日程調整中（7月上旬予定）
	講師	調整中
	演題	調整中

- 第2講座 日時 7月26日(金) 18時30分開演  
講師 野々村 友紀子(放送作家)  
演題 強く生きるためのヒント  
～野々村友紀子が伝えたい人生で大事なこと～
- 第3講座 日時 8月8日(木) 18時30分開演  
講師 コウ ケンテツ(料理研究家)  
演題 キッチンからはじまる家族の絆  
～食を通して人が世界がつながる～
- 会場 大ホール

## 2 その他自主文化事業

### (1) 第8回ストリートダンスフェスティバルin光

日時 4月7日(日)

会場 大ホール

内容 中学校保健体育でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加し、市民の関心も高くなっていることから、市内のダンス教室や高等学校ダンス部等でダンスを学ぶ児童や生徒を対象に、日頃の活動や練習の成果を発表する機会を提供する。

### (2) スタインウェイピアノ開放事業

第16回ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ!

日時 5月11日(土)・12日(日)

会場 大ホール

内容 初心者から高齢者まで幅広い層を対象に、市民ホールが所有する世界的に有名なピアノ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の場を提供する。

### (3) 精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

日時 5月26日(日)

会場 大ホール

内容 高校吹奏楽部の国内最高峰といわれる精華女子高校吹奏楽部を招聘して吹奏楽コンサートを開催する。今回は、光高等学校吹奏楽部、聖光高等学校吹

奏楽部との合同演奏も予定している。

(4) 小学校音楽教室（学校引率）

アンデスの音楽「大地の讃歌」

日時 6月13日（木）

会場 大ホール

対象 市内小学校5・6年生

内容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供する。今年度はボリビアの首都ラ・パスのグループ「クルス・デル・スール」を招き、アンデスの音楽を鑑賞する。

(5) 山崎バニラの活弁大絵巻inひかり（会員招待公演）

日時 6月16日（日）

会場 大ホール

内容 光の文化を高める会の新規会員の確保と現行会員の継続入会を促進するために開催するもので、今年度は、日本でも十数人といわれる活動写真弁士として活躍中の「山崎バニラ」を招き、大正琴とピアノによる弾き語り活弁を鑑賞する。（会員以外は有料）

(6) 横田神楽団特別公演

日時 6月23日（日）

会場 大ホール

内容 昨年度は光の文化を高める会の会員招待公演として開催したが、神楽ファンの熱心な要望があり、今年度は自主事業として開催する。

今回も、神楽の聖地「広島県安芸高田市」の中でも特に技巧に優れた「横田神楽団」を招き、神楽公演を開催する。

(7) 古典芸能公演

日時 9月8日（日）

会場 小ホール

内容 毎年実施している落語、講談などの優れた古典芸能の鑑賞会を、市内の落語愛好グループ「光がんざき亭」との共催で開催する。

(8) 第37回市民コンサート

日時 9月15日(日)

会場 大ホール

内容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会し、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供する。出演する児童・生徒については、今後の活躍と飛躍を期す機会とする。

(9) フォークコンサート“元気です”2024

日時 10月20日(日)

会場 大ホール

内容 令和4年度に開催し好評を博した公演で、吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫の名曲カバーで人気のグループ「永谷青空とクロスリバー」による、フォークコンサートを「クロスリバー」との共催で今年度も開催する。

(10) 優秀映画鑑賞会

第8回光市民ホール名画劇場

時期 日程調整中(2月予定)

会場 小ホール

内容 優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、文化庁及び国立映画アーカイブにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、廉価な入場料による映画鑑賞会を開催する。

(11) 第10回 アラ還フェスティバルin光

日時 3月2日(日)

会場 大ホール

内容 市内及び周辺地域で演奏活動を行っている、概ね還暦世代の音楽愛好バンドに演奏の場を提供する。

3 光市新市誕生20周年記念事業

新市誕生20周年を記念し、市との共催で下記の事業を実施する。

内容は、子育て世代(ファミリー層)向け、青年層向け及び年配層向けの事業とすることで、全市民を対象に周年事業の気運の醸成に寄与するとともに、新市の更なる発展

の一助とすることを目的とする。

(1) きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル

「新ソドー島のたからもの」ニア編

日時 日程調整中（8月予定）

会場 大ホール

内容 子育て世代（ファミリー層）向け事業として、テレビや映画、本などで人気の「きかんしゃトーマス」のライブショーを開催する。

(2) 荒牧陽子&松浦航大 ～最強!! 歌マネLive～

日時 日程調整中（11月予定）

会場 大ホール

内容 青年層向け事業として、テレビの歌番組や全国各地のステージで人気のある「荒牧陽子」と「松浦航大」による歌マネコンサートを開催する。

(3) イルカ コンサート

日時 日程調整中（12月予定）

会場 大ホール

内容 年配層向け事業として、「なごり雪」や「雨の物語」など多くのヒットソングを世に送り出しデビュー50周年を迎えたシンガーソングライター「イルカ」のコンサートを開催する。

#### 4 施設・設備の整備

来館者の安全を確保し、快適な施設環境を維持するため、定期的な機器等の更新に加えて、築50年を超え、老朽化した施設・設備の経年劣化箇所についても、市教育委員会と協議しながら改修・更新を行う。

#### 5 市民文化意識の高揚と文化事業の広報

(1) 財団友の会（通称：光の文化を高める会）の会員の増加を図るとともに、会員に向けての広報活動の推進に努める。

(2) 財団情報誌『虹』やホームページ及びSNS等を活用し、各種自主文化事業の周知を図る。

(3) 各報道機関への情報提供に努める。

## 6 貸館業務

指定管理者としての認識のもと、舞台芸術や市民文化活動の拠点施設として、地域に根ざした使いやすい施設の維持、管理に努める。

## ふるさと郷土館事業計画

光ふるさと郷土館は、港町室積の商家の建物を活かした伝統文化の継承と、ふるさとの歴史・文化の発掘、資料の収集・展示を行うとともに、地域の活性化を図るため、光市の観光や地域文化の創造・発表の場として特色ある運営をめざす。

### 1 常設展示

江戸時代以降、室積に寄港していた北前船に関する資料、醤油の醸造道具や漁具、商家の帳場の展示などをおして、当時の室積の果たしていた役割や人々の生活、文化などを紹介する。

《新規事業》 古文書解説・展示事業

目的：郷土館2階にある廻船問屋（中津屋）等の古文書を解説し展示する。

期間：令和6年度～8年度の3ケ年（予定）

依頼先：光地方史研究会会員 重国俊夫先生

報償費：1回、11,137円（税込）。年4回の支払い。

### 2 ギャラリー展示

タイトル	出品者	会期
ねこいろ ～離島で暮らす猫達～	西本 章浩	4月7日（日） ～4月21日（日）
手書友禅展	田村 輝子 他	5月3日（金・祝） ～5月15日（水）
ニヤンドウティ （パラグアイの工芸品）	木戸 弥生 他	9月14（土） ～9月23日（月）
写真展	未定	未定
虹雪書心会 第5回楽書展	虹雪書心会	11月24日（日） ～12月1日（日）
人形浄瑠璃絵画展	太田 耕造	1月18日（土） ～1月31日（金）

### 3 イベント等

- |   |                      |
|---|----------------------|
| (1) 郷土館端午の節句                                | 4月27日(土)～5月5日(日・祝)   |
| (2) 心に響く東方メロディ二胡の調べ                         | 5月11日(土)             |
| (3) 普賢まつりの開館時間延長                            | 5月14日(火) ※19時まで開館延長  |
| (4) 郷土館夏企画 [五感で感じる郷土の夏<br>サメの歯展示(県漁業光支店所蔵)] | 7月20日(土)～8月31日(土)    |
| (5) 光邦楽「虹の会」秋の演奏会                           | 9月21日(土)             |
| ※同じ日に池坊いけばな展を開催                             |                      |
| (6) 室積秋まつり展(光市室積山車保存会)                      | 10月 2日(水)～10月13日(日)  |
| (7) 早長八幡宮秋まつりの開館時間延長                        | 10月13日(日) ※19時まで開館延長 |
| (8) 郷土館のひなまつり                               | 2月8日(土)～3月9日(日)      |
| (9) 光邦楽「虹の会」春の演奏会                           | 3月1日(土)              |
| ※同じ日に池坊いけばな展を開催                             |                      |

### 4 教育普及活動

- |                              |           |
|------------------------------|-----------|
| (1) 小中学校の社会科見学や総合学習への対応      |           |
| 小・中学校の総合学習等の施設見学に対応した展示物等の説明 |           |
| (2) 講座や体験教室の開催               |           |
| ア 歴史講座                       |           |
| 郷土史を中心とした教養講座                | 2月        |
| イ 体験教室                       |           |
| (ア) 古着で作るはがき掛け               | 6月15日(土)  |
| (イ) 親子で作る竹細工                 | 7月20日(土)  |
| (ウ) 藍染め体験                    | 7月21日(日)  |
| (エ) 親子で作る水鉄砲①                | 8月11日(日)  |
| (オ) 親子で作る水鉄砲②                | 8月12日(月)  |
| (カ) 竹で作る干支・巳                 | 11月30日(土) |
| (キ) ミニ門松作り                   | 12月21日(土) |

## 5 その他

- (1) 地域観光の拠点施設としてマスコミ・地域の関連団体との連携や情報交換
- (2) ギャラリー展示者の発掘
- (3) 貸し部屋の利用促進